

6月の県内景況は、前月に比べ悪化。 原油価格の上昇や震災からの復興需要減の 影響を受け、一部業種で低調に推移した。

情報連絡員による平成28年6月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は12.3%（前月比-0.2）となっており、「横這い」は33.3%（同-11.3）、「低調」とするところが54.4%（同-11.5）、業界全体の「景況感DI」は-42.1%（同-11.7）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「在庫数量」「設備操業度」の2項目が前月と比較して好転しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、サービス業は「晴れ」、食料品製造業、繊維製品製造、卸売業、小売業、建設業は「曇り」または「薄曇」、その他の業種は「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が、21.1%（前月比+8.6%）と増加しております（好転の回答1件、やや好転の回答11件）（製造業5、非製造業7）。また、変わらないが、52.6%（前月比-17.0）と減少しております。やや悪化、悪化の見込みは、26.3%（前月比+8.4）と増加しております。

平成28年6月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-42.86	-42.86	0.00	0.00	-28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-28.57	-28.57
繊維製品製造	-33.33	0.00	-33.33	0.00	-33.33	0.00	-33.33	0.00	0.00	-33.33	0.00	0.00
木材製品製造	25.00	-25.00	0.00	-25.00	25.00	-25.00	25.00	-25.00	0.00	-50.00	0.00	-50.00
鉄工機械製造	-100.00	-100.00	0.00	0.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	0.00	-50.00	-75.00	-50.00
その他の製造	14.29	-71.43	0.00	28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	0.00	-14.29	-28.57
卸売業	0.00	-33.33	-33.33	0.00	-66.67	-33.33	-33.33	-33.33	0.00	0.00	-33.33	0.00
小売業	-33.33	-55.56	11.11	11.11	-33.33	-44.44	-44.44	-33.33	-22.22	-66.67	-11.11	-11.11
商店街	-16.67	-50.00	16.67	-16.67	-33.33	-50.00	-33.33	-50.00	0.00	-16.67	-50.00	-50.00
サービス業	-16.67	33.33	16.67	16.67	-16.67	0.00	-16.67	-16.67	0.00	16.67	0.00	16.67
建設業	0.00	-40.00	0.00	0.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00
運輸業	0.00	-100.00	0.00	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-66.67

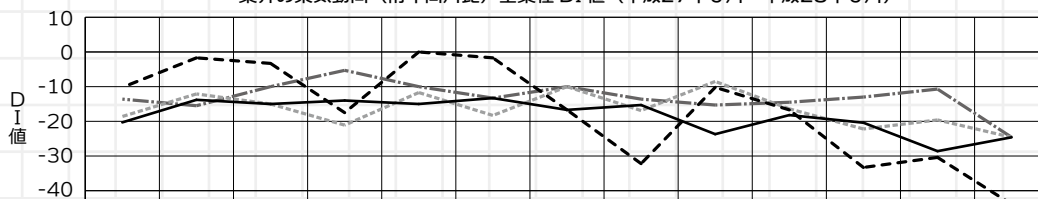
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- 曇り -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成27年6月～平成28年6月）



— 業界の景況
- - - 売上高
... 収益状況
- · - 資金繰り

	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月	平成28年2月	平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月
業界の景況	-20.3	-13.8	-15.0	-14.0	-15.0	-13.3	-16.7	-15.3	-23.7	-18.2	-20.4	-28.6	-24.6
売上高	-10.2	-1.7	-3.3	-17.5	0.0	-1.7	-16.7	-32.2	-10.2	-16.7	-33.3	-30.4	-43.9
収益状況	-18.6	-12.1	-15.0	-21.1	-11.7	-18.3	-10.0	-16.9	-8.5	-16.4	-22.2	-19.6	-24.6
資金繰り	-13.6	-15.5	-10.0	-5.3	-10.0	-13.3	-10.0	-13.6	-15.3	-14.5	-13.0	-10.7	-24.6

食料品製造業

<漬物>

業況は非常に良くない。原料は円高のため少し安くなってきたが、運賃、添加物、包装資材等が下がらなく高いままになり、売上も厳しく収益が厳しくなっている。

<味噌醤油>

味噌の原料である加工米の一部が不足気味で価格が高騰。味噌の出荷量が低迷している中、製造コストに影響し非常に厳しい状況。

<菓子>

夏場の閑散期に入っている。取扱製品が生モノのため特に気を遣う時期に入り、製造、在庫の調整をしている。

<酒造>

各地で日本酒のイベント等が多く行われている。県内においても、7、8月に大きなイベントを予定しており現在準備中である。

<食品団地>

原油価格が需給バランスの影響で少しずつ上がり始めている。依然、消費は低迷しているので、生産・在庫調整で対応している。雇用においても改善が見られない状況である。

木材・木製品製造業

<製材業>

素材(丸太)の出材は梅雨に入り徐々に減ってきた。季節要因に加え、3月頃から値下がりが続いたため山側の出材意欲が低下してきたことも要因と言われる。このため、価格は下げ止まりとなった。一方、製品需要が上向き見通しが立たず買い気は鈍い。

<外材輸入>

消費増税の延期に伴う先行き不透明感が漂う中、急激な為替円高、さらには梅雨時期が重なり、市場の好転は見通せず製材品の荷動きは低調のまま推移している。

紙・紙加工品

<紙器・段ボール箱>

引き続き、原材料、副資材価格の高止まりや人件費の増大、少子高齢化による後継者不足が課題となっている。

印刷業

<印刷>

競争の激化により、利幅は縮小傾向にあり収益面はやや厳しさを増している。

窯業・土石製品製造業

<砕石>

(県北地区)

1. 当月売上数量	前月比	約22%増
2. 当月売上数量	昨年同月比	約17%減
3. 当年度売上数量	昨年対比	約18%増
4. 原因・現状		

- ・今年度に発注された公共事業は河川災害復旧工事が多く、砕石等の設計数量が少ない。
- ・生コン用砕石については、先月とほぼ同じ数量出荷となった。

<生コン>

平成28年6月の組合員生コン出荷数量は、159,739m³と対前年同月比18.0%減。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比14.4%減、官公需が29.1%減であった。

○民需の動向

対前年同月比 14.4%減

対前年同月比増加地区

<県北地区> 29.0%増 病院新築工事、工場工事等

対前年同月比減少地区

<県中地区> 15.1%減 新福島郵便処理施設、マンション、物流センター新築工事等

<白河地区> 4.8%減 化学工場新設工事等

<いわき地区> 34.4%減 製紙工場、物流センター、マンション新築工事等

<相双地区> 28.7%減 民間企業単身寮、第一原発事務棟整備建設工事、原発保安対策工事等

<会津地区> 9.2%減 会津高田JR倉庫建設工事、老人福祉施設建設工事等

○官公需の動向

対前年同月比 29.1%減

対前年同月比増加地区

<県北地区> 3.8%増 腰巡トンネル、県警本部庁舎建築工事、医療科学センターD棟新築工事等

対前年同月比減少地区

<県中地区> 28.1%減 西部第一工業団地造成工事、三森橋梁下部工事等

<白河地区> 17.3%減 西郷村村民プール建設工事等

<いわき地区> 29.3%減 港湾災害復旧、埠頭埋立造成工事、病院建築工事等

<相双地区> 36.4%減 減容化施設、廃棄物処理施設整備工事、トンネル、海岸復旧工事等

<会津地区> 37.0%減 滝沢浄水場工事、喜多方第三中学校工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

プラント設備関連業界は、先月からの集中定修工事が一段落したため、売上高が前月比で52%と大幅な減少に転じた。前年同月比では、10%の減とやや低調な値となり、前年累計比でも8%減と先行きに不安感含みの状態となった。

<電子工業>

大手メーカーの工場閉鎖に伴い一段と厳しい状況になると思われる。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

例年以上に今回の梅雨はくずついた天気が続いている。その影響もあり日用品(日焼け止めや殺虫剤等)等の季節商品の動きが鈍かった。景気回復があまり体

感できない一方で、人手不足感がぬぐえない。大企業や一部の好条件の企業に人手が取られている影響ではないか。

(県北地区)

当組合の販売品目は米穀のみで、平成27年秋に収穫した米穀を主に秋から初夏にかけて販売している。このため、夏から秋の米穀の収穫時期までは販売数量が激減する。なお、米穀の販売単価は昨年より上がっているが、取扱数量が減ったため売上高は増えていない。

<再生資源>

鉄スクラップ・古紙ともに依然低調であるが、6月末の英国EU離脱の影響で一時的な円高となり業界では危機感をつのらせている。今後の価格は為替の変動に大きく左右され、ますます先行きが不透明になってきた。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

消費者の消費活動が低下している。収入の先行き不安感が先行し必需品需要が徹底され、さらに低価格を求められるため小売業は厳しい状況に立たされている。

(県中地区のNショッピングセンター)

原発補償もほぼ打ち切りの中、顧客の購買力も落ちているように感じ、売上や収益を上げていくのに個店レベルでの努力では限界を感じる。

<石油>

元売各社の仕切価格が上昇し、小売価格も上昇した。しかしながら、自動車燃料の需要減、さらには一部の安値業者の影響により厳しい経営は続いている。また、最近の急激な為替変動も今後の仕入価格に大きな影響を及ぼすものと思われる。

<青果>

前月からの状況は変わらず、単価の高騰は部分的にあるものの入荷数の減少で取引の増加に繋がらなかった。梅の取扱が始まったが、やはり3、4月に低温、霜や雪の影響で入荷が激減し取扱に影響した。

商店街

<福島市>

6月は業種を問わず苦しい月となった。連休がなかったことやボーナス前、選挙等、色々と原因は推測できるが、正確な原因は不明。前記の条件が全て除ける7月に期待。

<郡山市>

うすい百貨店の物産展の好調さが、そのまま表れたようなひと月だった。物産展終了後の来街者が低調なことからも集客のある催事の力は大きいと感じる。今後、平常時の指数を上げるためには、催事・イベントの力だけではなく、もっと違う視点から取り組んでいかなければならない。

<南相馬市>

相馬野馬追も近づき、街全体が活気づく時期に入った。商店街連合会主催の中元売出しも開催され、参加店舗も昨年並みのよう。

<会津若松市>

雨の少ない梅雨だった為、例年よりも客足は良かったように思う。商店街の空きテナントに2店舗入店が決まり、リニューアルオープンした店舗もあった。商店街として新しいお客様を呼び込む良いきっかけにしたい。

<いわき市>

九州の大雨被害の影響等で消費マインドが低下したのか、とにかく物販店には厳しい6月であった。ボーナス月、年金月と支出の障害にならない月であったがセールを仕掛けても芳しくないとの声が聞かれた。これでは7月に本格的にスタートするセールには期待できないと悲観的な見方をする店主も多い。飲食店は6月後半から週末を中心に賑わっていた。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

あづま総合運動公園で開催されるスポーツの大会の高校生等の宿泊が好調で、ほぼ前年並みの景況感である。

<美容業>

県内は、求人難で、雇用の悪化が支店展開を行っているサロンにダメージを与えている。また、各サロンもスタッフ減のため売上に影響している。一方で、高齢者対象サロンは年金支給月で好転した。

<理容業>

梅雨の時期だが、比較的天候にも恵まれ全体的にどの方部ともまずまずの状況。いわき方部は、引き続き好調のよう。復興事業関係で景気が良いとのこと。夏メニューを積極的に取り組んでいるサロンは成果を上げているため皆で取り組むよう進めている。安売りチェーン等に負けないためにも価値観を高め、お客様の信頼を得ることが繁栄につながる。いつも同じような仕事でも季節感を出したり、新鮮さを出すことは商売の基本であるため、組合をあげて事業に取り組んでいきたい。

<一般廃棄物収集運搬>

通常業務については5月より月実績でほぼ同額の売り上げで推移している。震災関連事業は、4月、5月で業務発注の変動があり苦慮していたが、6月に入りだいぶ安定してきた。産業廃棄物に関しては依然として排出量は震災前の水準には届かず、しばらくは増加することはないと思われる。しかしながら、相馬港において、水産業が本格操業へ向けて動き出したことから今後の動向により状況は変わると期待している。また、雇用の安定化を図っているが、南相馬以南の除染業務に人員を取られる状況がみられる。次年度の高卒新卒者説明会が始まるようなので積極的に取り組み若い人材を雇用できることを期待している。

建設業

<建設業>

(県南地区)

新たな除染業務(事業所、道路、運搬業務等)の発注があり、受注が持ち直している。土木工事及び建設工事が共に減少している。

<管工事>

給水装置工事及び排水設備工事申請は前月対比・前年同月累計対比で減少している。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

各組合員の平成27年度決算は、燃料費の減少によ

り収益が増加した。今後の燃料価格動向の予想は難しいが、当面大きな変動はないと思われるため収益は確保できるのではないか。

<ハイヤータクシー>

売上が前月より微増したものの、5月に比べ連休等なく休みが減ったことによるもので厳しい状況に変わりはない。